てつなぎ No.83

島根県保育協議会・保育士部会

第53回 全国保育士会研究大会を終えて

令和元年10月24日～25日に、第53回全国保育士会研究大会が島根県で開催されました。北海道から沖縄県まで全国の保育士1,114名が集い、盛大に大会が行われました。

今年は島根県が会場ということで、県内からも多数の方が参加されました。1日目は開会式・式典、基調報告、行政説明、記念公演が行われ、2日目は、9つの分科会で研究発表が行われました。

今年は、育児漫画家・イラストレーターである高野優氏が記念講演をしてくださいました。高野さんは、社会人・高校生の三姉妹のお母さん。マンガを描きながら話をするという独特なスタイルで講演を行っておられます。

「我が子をついついズームで見てしまい、悪いところばかりが目立ってしまった時、反抗期・思春期の本人が一番つらいはず!とゆるゆるで見るようにしたら、ハリネズミのようだった娘のハリが抜け陽気な白クマになりました。薄目がちょうどいいんです。」

「親に認めてもらえず辛かった自分の子ども時代。『お前はとてもいい子だよ。何も変わらなくていいからそのまま大人になりなさい!』と言ってくれた恩師。そして友達やその家族に温かく見守られてきました。絵を描くことは幼稚園の頃先生にほめられて益々好きになり、仕事になりました。」

「保育士さんあってのわたしの子育て」

マンガを描きながら、自分の子育てや自身の生い立ちの話から、悩んだり葛藤したり感じたり悟ったりしたことを、時には楽しく、時には心に響く言葉で、たくさんのメッセージを送ってくださいました。

ご　案　内

「第54回 全国保育士会研究大会」について

【開催期日】2020年10月8日（木）～9日（金）
【開 催 県】青森県
【会　　場】リンクステーションホテル青森（青森市文化会館）

第53回 全国保育士会研究大会 分科会において《2日目》

全国大会2日目（10月25日）は、くにびきメッセ、
松江テルサを会場において、各都道府県の代表園（所）の
実践研究発表が行われました。
（8つの分科会と特別分科会）内容は、以下の通りです。

第1分科会 保育の内容を深める「子どもの発達と環境」（3歳未満児）

千葉市

千葉市保育協議会では、保育者が関わりの大切さを自覚した意識的な姿勢が、子どもの非認知能力を伸ばすことにつながり、物的環境を整えることや保育者間の連携が重要。

京都府

京都府保育協議会では、指差しに着目して考察をした結果、言葉が出る前の子どもたちの要求表現に対する応答的な関わりが、子どもと保育者との基本的信頼感を育み、指差しを発達のチャンスと捉える保育者の視点が大切。

以上の実践研究から保育者の応答性が子どもの情動調整能力の育ちにつながる。

第2分科会 保育の内容を深める「子どもの発達と環境」（3歳以上児）

岩手県

岩手県「かまいしこども園」、長崎県「私立保育園マミー」の2つの研究は「子どもの主体的な活動」をテーマに、保育者の対応のあり方や、季節的行事の進め方を取り上げて、様々な実践とその経緯を考察し、さらに今後の課題についての発表であった。

長崎県

助言者の阿部先生からは、「養護と教育が一体的に行われる保育」とは、環境を通して行うことが必然であり、遊びの中で総合的に行われるものであるとして、「子どもの主体性を育てる保育のありよう」についてのグループ討議を行った。

第3分科会 保育の内容を深める「子どもの発達と環境」（3歳以上児）

川崎市　**北九州市**

川崎市「保育内容研究部会」、北九州市「愛の園保育園」では、「配慮を要する子どもの保育」をテーマに、生活全体の関係図を保育に活かしたり、一連の動作を記録・分析・整理し適した支援方法を保育に取り入れたりすることで、生活の安定が子どもの成長につながるという研究発表であった。各グループでディスカッションを行い発表をした。

第4分科会 保育の内容を深める「保育のなかの食育」

横浜市

「保育の中の食育」をテーマにした、横浜市「あおぞら谷津保育園」、富山県「津沢こども園」の研究発表では、共通して、給食と保育は保育活動として切り離すことはできず、乳幼児期から食を通して収穫や調理体験をすることで、活動や意欲が発展する効果がみられるとあった。また、地域や保護者と一緒に食育活動を行うことで、家庭の生活や食事が変化していくとの報告があった。

富山県

第5分科会 子どもの育ちから健康、安全を考える「健康及び安全」

三重県　**山口県**

三重県「菰野町立保育園」、山口県保育協会では、子どもの口に着目し、その一つの窓口から子どもの全体像を見るところまで深まり、試行錯誤しながら自分たちの保育を振り返り、見つめなおす発表であった。保育者が変わることで保育が変わり、子どもも変わることに気付き、これからの保育に活かしていくという思いが伝わった。

午後はグループワークを通して1つの事柄でも様々な見方、考え方があること、子どもの姿から瞬時に大人が関わることの大切さを改めて考えさせられた会となった。

第6分科会 保護者に対する支援を考える「保育所・認定こども園等における保護者支援」

青森県

青森県「チャリティー第一保育園」、大阪府「柱本保育園こども未来学舎」では、松江テルサを会場に、大勢の参加者が保護者に対する支援に関する研究を通して協議を行った。

大阪府

発表の後、質疑応答、KJ法を使ったグループ討議、ワールドカフェ形式ディスカッションを経て、集団保育の中で個別配慮を要する子どもの保育者支援の振り返りと地域の実情に合った保護者支援のあり方、関係機関の予防的支援と連携した有効な保護者支援について助言者の講義を受けた。

助言者と参加者の和やかな雰囲気と積極的なディスカッションで有意義な分科会となった。

第7分科会 保護者に対する支援を考える「地域における子育て支援」

徳島県

徳島県「わじきこども園」では、子育て支援センターと連携を取り、交流事業、クラス開放、一時預かりなどの保育事業を意欲的に取り組んでいる。その事業を通して、保護者に子どもの育ちが実感できるよう保護者支援を行っていた。

沖縄県

沖縄県「越来保育所」では、地域子育て支援活動を新しく立ち上げ、複数の職員が専門性を活かし具体的な子どもへのかかわり方などを伝えたり、保育所の給食を提供したりして栄養士とも連携し、地域の子育て支援を実施している。両園とも、地域における子育てを考え、今やれること、見通しを持ってやっていく事業を熱心に取り組んでいると感じた。

発表後は、グループワークで園の特色を生かし、地域における子育て支援をワールドカフェ方式で話し合い、各グループが理想とする園をポスターにし楽しみながら学び合うことができた。

第8分科会 専門性の向上をはかる「専門職としての責務」

群馬県

群馬県「こども園みどりのもり」の発表では「遊びを通して子どもを育む保育者の役割」とし、着目した環境構成については、4月当初のなにもない保育室の環境を子どもの姿から見直し保育者主導の保育ではなく、子どもの主体性を重視し、子どもの興味関心や動きに応じた環境の構成について見直す事例を提案。

鳥取県

また鳥取県「のぞみ保育園」はミドルリーダー保育士の育成の中で園全体がチームとして取り組んでいけるための園内研修を工夫した。改革は難しいが時間を有効に活用しながら見直し改善していくことが必要。発表を受け、それぞれ各グループでの熱心な討議が行われた。

「子どもの主体の保育」の理解促進と質の向上をめざして
～認めあい（愛）分かちあい（愛）ご縁をつなげて～をテーマに二日間、全国各地の保育に関わる方々と交流を深めながら、学び合い今後の保育に活かせる研究大会になりました。ありがとうございました。

みんなの声を見て! 聞いて!

HOT ホッと

☆**キッチン台の下でのごちそう作り**
「ヒミツができたよ」「ヒミツだよ」
たくさんヒミツのごちそうが出来ました。

☆**椅子をつないでバスごっこをしている1歳児**
Aちゃん「しぇんしぇ、いってきます!」
保育者「どこに行くの?」
Bちゃん「ウェルネス・コアいくよ」
Cちゃん「ローソン」
Dちゃん「おかーしゃん」
それぞれ行先は違いますが(?)楽しんでいました。

おもしろつぶやき

☆**食事の後はテラスで絵本タイム**
楽しみに支度を終えたBくん
「レタス行っていい? レタス〜♡」
保育者「???あー!! テラスね 行ってらっしゃい」

子どものつぶやき

☆**木登りをしているお友だち**
A児「あったかい。ポカポカだぞ〜!」
B児「くもさんがたいようさんのじゃましてないからね〜」

おもしろつぶやき

☆**庭のイチョウの葉を拾いながら…**
子ども「せんせい、イチョウの"タナバタ"だよ」
保育者「七夕?」
子ども「花嫁さんが持ってるやつ!なんだっけ?」
保育者「…もしかして"はなたば"?」
子ども「あ!それ!は・な・た・ば♡」

☆**羊さん一緒に散歩に行こうね。**
いちに、いちに、
羊と一緒にみんなでお散歩。

ほっこりつぶやき

鉄棒をいっぱい練習して逆上がりができるようになった。
AちゃんをBちゃんがキュッと抱きしめる姿がありました。
聞いてみると…
「Aちゃんがすごくがんばったから♡」とのこと。
素敵です。

おもしろつぶやき

幼虫探し中の2歳児さんたち…
Aちゃん「こわい〜」
Bちゃん「かわいいよ〜。
ちこちこちこちこ あるくんで〜」

ほっこりつぶやき

2歳児と4歳児がバスに乗って一緒におでかけ。
きょうだいではないけれど、隣に座ってにっこり!
こちょこちょ〜で
すっかり仲良しになりました。

子どものつぶやき

お昼寝起きのこと
保育者「おはよう」
Cくん「いらっしゃいませ…」
まだ夢の中だったのでしょうか!?